

オススメ製品紹介

セキュリティの課題をまとめて解決 次世代ファイアウォール



『Palo Alto Networks社 PAシリーズ』

課題 1 ポート制御だけだと業務に関係のないP2Pソフトでのファイル交換や動画サイトの閲覧を防ぐことができない。

すべてのポートでアプリケーションを可視化・制御!

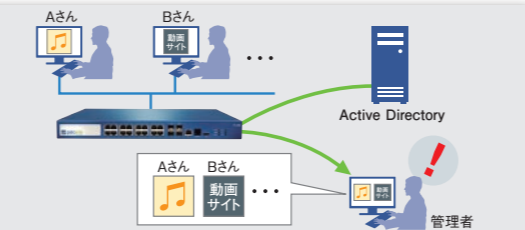
ポートやプロトコルにかかわらず、すべての通信の可視化・コントロールが可能。そのため、悪質なアプリケーションを見逃すことはありません。



課題 2 IPアドレスのみでの識別では社員が特定できずセキュリティリスクへの対応に時間がかかっている。

AD連携で事故が起こる前の対策が可能に!

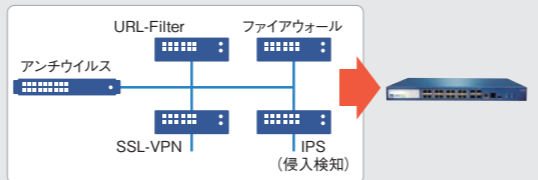
Active Directoryとの連携でユーザ/グループのアプリケーション管理が可能になり、潜在的脅威に対してプロアクティブな対応を実現します。



課題 3 セキュリティ対策に複数の製品を利用。運用管理が煩雑化し、コストもかさんでしまっている。

セキュリティ対策機器を集約。管理負荷とコストを低減!

最適化されたハードウェアとシングルバス制御により、UTM (総合脅威管理) 動作時のパフォーマンス劣化を低減し、運用管理の負荷とコストを大幅に低減します。



『PaloAlto 1週間 無料トライアル』キャンペーン実施中!

キャンペーン期間: 2011年3月31日まで
アプリケーションの可視化は本当に必要? そんな疑問や不安をお持ちなら、まずは1週間の無料トライアルをご利用ください。現状のトラフィックから様々なリスクが見えてきます。

★2011年2月セキュリティ監視サービスご提供予定!

お問い合わせ NEC ネットズエスアイ サービスソリューション推進本部ソリューション企画部
TEL: (03) 6699-7582 E-mail: nw-solution@nesic.com
URL: http://www.nesic.co.jp/solution/product/paloalto.html

User's Voice

Active Directoryとの連携で、ユーザごとにアプリケーションを可視化でき、プロアクティブなセキュリティ対策が可能になっています。



TOPICS NEC ネットズエスアイは第52次南極観測活動に貢献しています

NEC ネットズエスアイ社員の高平 忍が、第52次南極観測隊に選ばれ、国立極地研究所様の所属として、2010年12月に昭和基地へ到着いたしました。

現在は、南極地域観測における日本のナショナルチームの一員として、誇りを持って多目的衛星データ受信システムなどの運用並びに保守点検任務にあたっています。

●下記Webサイトでも、南極観測活動についてご紹介しています。ぜひご覧ください。



成田空港より南極地域観測に出発する52次観測隊 高平 忍 (右から3人目)



衛星受信アンテナ設備



南極地域観測協力をを行う日本で唯一の砕氷艦「しらせ」

(※上2枚の写真はいずれも51次隊の活動時のものです)

国立極地研究所様「南極観測のホームページ」
<http://www.nipr.ac.jp/jare/>

NEC ネットズエスアイ「南極 越冬隊の今」
<http://www.nesic.co.jp/topics/antarctic/>

本誌に関するお問い合わせは、下記のNEC ネットズエスアイへ

営業統括本部 営業企画室 営業戦略企画部 電話 東京 (03) 6699-7060 (ダイヤルイン)
<http://www.nesic.co.jp/>

※本誌に掲載されているシステム名、製品名などは各社の登録商標です。
※本誌の記載事項は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※本誌の内容は、2011年1月現在のものです。

NEC ネットズエスアイ株式会社 NEC Networks & System Integration Corporation
〒112-8560 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー 電話 東京 (03) 6699-7000 (大代表)

この印刷物は地球環境を考え、古紙を配合した再生紙及び大豆油インクを使用しています。



NEC ネットズエスアイでは、個人情報保護に取り組んでおり、2005年9月に財団法人日本情報処理開発協会 (JIPDEC) によって、プライバシーマークの認定が承認されました。

21000053(03)
JIS0001:2006準拠



ICT ソリューション・ジャーナル

UP!

Empowered by Innovation **NEC**

顧客サービスの「質」を支える運用・監視

vol. 11



こんな課題やニーズはありませんか

- 社内の運用業務を平準化したい
- サーバなど運用・監視の負荷を軽減したい
- システムトラブルを未然に防ぎたい

事例 株式会社ベネフィット・ワン様

運用・監視のアウトソーシングで Web サイトサービスの信頼性を向上

NEC ネットズエスアイ
NEC Networks & System Integration Corporation

株式会社ベネフィット・ワン 様

運用・監視のアウトソーシングで Web サイトサービスの信頼性を向上

Webサイトを利用した業界大手の福利厚生代行サービスを提供するベネフィット・ワン様。サービスの運営を支えるシステムの信頼性向上は重要な要件です。しかし、システムの運用管理に割ける人員が限られていた上、ビジネスを取り巻く環境も大きく変化。一般消費者が同社のサービスを利用するケースが増え、24時間365日止まらないサービス提供がより強く求められるようになっていました。そこで同社では、業務継続性と運用体制の強化に向け、システムの運用・監視をアウトソーシングすることにしました。

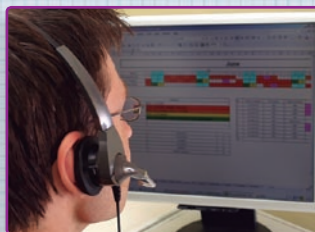
USER PROFILE



株式会社ベネフィット・ワン
 設立 1996年3月15日
 資本金 15億1400万円(2010年3月末現在)
 従業員 824名(2010年4月1日現在)
 企業概要 「良いものをより安くより便利に」を企業理念に、企業従業員向けに福利厚生サービスを代行する「ベネフィット・ステーション」のWebサイトを運営。人と企業の付加価値を高めるWebサービスを提供する。

アウトソーシング導入のポイント

Scene1 パートナーの選択



専門家による運用・監視と幅広い領域のノウハウ

Scene2 運用手順の共有



手順書の策定支援をはじめ運用・監視業務を強力サポート

Scene3 障害の予防



障害を未然に防ぐことでサービスレベルの向上を実現

Future 今後の展開



お客様のニーズに全力で応えるために

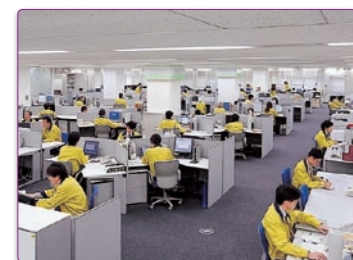


運用・監視業務はプロに任せて ビジネス環境の変化へ注力したいと考えていました。

株式会社ベネフィット・ワン
 システム開発部
 インフラチーム長 シニアマネージャー
衣川 智史氏



福利厚生サービスを支えるシステムの運用管理に充てられる人員はわずか数名。その人員で約200台のサーバ、約1000台のクライアント、LAN/WANやネットワーク機器などをサポートしていました。そのため、担当者は昼夜を問わず緊急時の対応が必要になるなど手間や時間が大幅にかかり、それら負荷の軽減が急務でした。



専門オペレータによる運用・監視

さらに、企業向け(BtoB)だけでなく、その企業の顧客(BtoBtoC)に対しても、サービス提供を行うなど、当社を取り巻くビジネス環境

も大きく変化。24時間365日サービスを止めない業務継続性と信頼性の向上のため、運用管理体制を見直すことにし、システムの運用・監視のアウトソーシングを決断。複数のベンダーの提案を比較・検討した結果、NEC ネットズエスアイをパートナーに選定しました。

選定の理由は、**国内最大級のネットワーク統合オペレーションセンター「nTOC」での専門オペレータによる24時間365日の運用体制**と、導入から運用に至るまで、長年の実績に基づく幅広い領域でのノウハウがあること。**監視レベルやその優先度に応じて、監視メニューを自由に組み合わせられる**点も大きなポイントでした。



問題の対応策は担当者の頭の中。運用・監視の手順を共有する必要がありました。

運用・監視をアウトソーシングするには、手順の共有が必要ですが、これまでは属人的な運用が多くなっていました。その結果、特定の担当者への負荷が増大、あるいは障害の切り分けや復旧作業などが平準化されていないという課題が残っていました。

このような課題に対し、NEC ネットズエスアイはアウトソーシングにあたって毎週定例会を設け、**運用・監視の重要度などに応じてランク分けし、監視メニューを決めるとともに、手**

順書策定も一からサポート。運用者目線で作業要件や対応手順を体系化することができました。社内リソースだけでは、これらの手順書はまとめられなかったでしょうし、できたとしても技術者目線でより難解なものになっていたかもしれません。

手順書ができたことで運用・監視ルールが標準化され、安心してアウトソースすることができました。また、万一の障害に対しても、社内の誰もが手順書に従って迅速に対応できるようになったほか、業務の平準化も実現しています。



サービスレベルの維持・向上のためには先手を打てる体制が不可欠でした。

実際、運用・監視をアウトソーシングしてみた結果、**障害対応の迅速化や業務の標準化とともに、障害の「予防」が可能**になりました。例えば、「リソース」に関する情報を適宜収集し、迅速に提供してもらえる点もその1つ。ディスクの空き容量やCPUの負荷状況など障害には至らないまでも、早急に対応が必要な場合、その情報をリアルタイムで通知し、適切なアクションを促してくれます。その情報に基づいて対応することで、サービスレベルの維持・向上を実現し、24時間365日止まらないサービス提供を目標としています。

ベネフィット・ワン様で導入されたサービスメニュー

| | | | |
|------|-----------|-----------|--------|
| 障害対応 | 1次対応 | ベンダー問い合わせ | 保守対応 |
| 日常運用 | 定期オペレーション | オペレーション | レポート |
| 監視 | トラップ監視 | 死活監視 | TCP監視 |
| | リソース監視 | メッセージ監視 | 性能情報収集 |

NEC ネットズエスアイでは、お客様のリクエストに応じて様々な運用業務に対応しています。より詳細なサービスラインナップについては下記URLにてご確認ください。
 URL: <http://www.nesic.co.jp/solution/ss/>

Column

社内の情報セキュリティ強化を実現

今回、ベネフィット・ワン様では運用・監視体制強化とともに、社内における情報セキュリティの強化のため、次世代ファイアウォール『Palo Alto Networks社 PAシリーズ』(裏面

参照)を採用しました。従来のファイアウォールでは困難だった、アプリケーションレベルでのプロトコル監視が可能になり、会社で認められていないアプリケーションをブロック。適切な通信のみを通過させることで、情報セキュリティリスクの低減につながっています。



福利厚生サービスへの高まるニーズに対して、これからも全力で期待に応え続けたい。

現在は、当社で保有するサーバやネットワーク機器の運用・監視をお願いしていますが、今後は、NEC ネットズエスアイのデータセンター「S-iDC」へサーバなどの移管も検討しています。そうすれば、リモートではなくオンサイトによる保守も可能になります。こうした検討ができるのも、**監視から運用オペレーションまで幅広く、マルチベンダーでの対応が可能**だからです。

また、福利厚生ニーズが年々多様化するとともに、最適なコ

ストで質の高い福利厚生を提供・利用したいというお客様のニーズの高まりも実感しています。この期待に応えるため、ビジョンとして掲げる「今までになかった感動と喜びを提供するサービス流通創造への挑戦」の実現に向け、より進化した福利厚生サービスを提供していきたいと考えています。NEC ネットズエスアイには、その実現に向けてこれからも付加価値の高い提案を期待しています。